

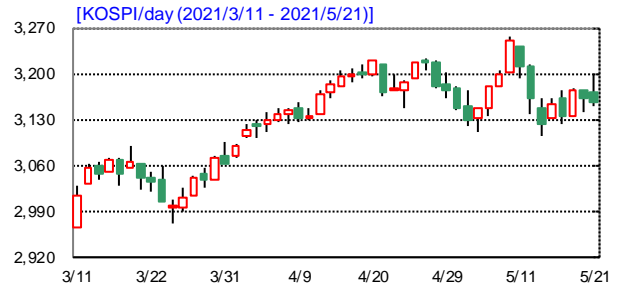


【韓国】 総合指数は週間で0.1%高と小反発、今週は神経質な展開か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.1%高と小幅に反発。19日は仏誕節のため休場で、取引は4日間だった。週明け17日はアジア各地で新型コロナウイルスの感染が急増したことから反落したものの、18日に欧米での経済活動の再開と成長加速を好感する買いが入り、相場を押し上げた。世界各地で景気回復の度合いが異なることもあり、方向感に乏しい展開が続いた。20日と21日は国内のコロナ感染拡大が嫌気されて小幅ながら続落。中国の規制を受けた暗号資産（仮想通貨）の急落も投資家心理を冷やしている。今週は神経質な展開か。韓国の文在寅大統領とバイデン米大統領が21日に会談した結果に対する株式市場の反応が注目される。韓国銀行（中央銀行）の政策金利発表を28日に控え、週後半は様子見ムードが強まる可能性がある。

▼指数チャート

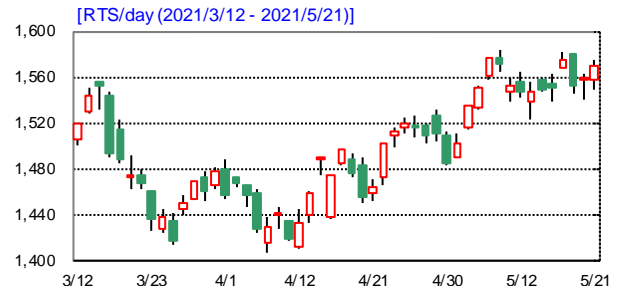


【ロシア】 RTS 指数は1.3%高と反発、今週は海外株や原油相場の動向が焦点か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で1.3%高と反発。米国の金融政策の見通しや原油相場、欧米株の動向をにらんでもみ合ったが、週間ベースでは上昇した。週明け17日に小幅高でスタートすると、18日は米国の緩和的金融政策の長期化見通しや原油高を追い風に指数は1.5%高と続伸。場中に1年3カ月ぶりの高値をつけた前週10日の水準に迫った。19日は原油相場の反落や米国のテーパリング懸念で1.4%安と反落したが、欧米株の上昇や原油相場の堅調を背景に週後半に続伸している。年初来上昇率は13.1%に拡大した。個別では産金株のポリユスが4.9%の大幅高。エネルギー株はガスプロムが3.4%高、ノバテクが2.2%高と上昇した一方、ルクオイルが4.1%、ロスネフチが3.7%下落した。今週は海外株や原油相場をにらんだ展開か。

▼指数チャート



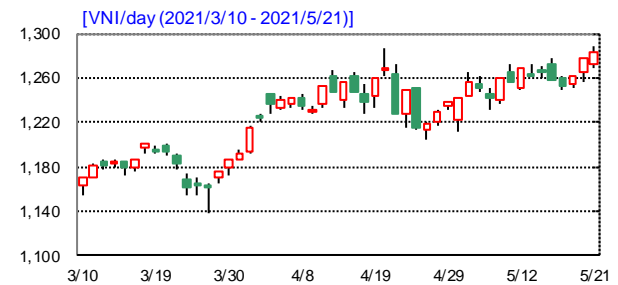
【ベトナム】 ベトナム指数は1.4%高と3週続伸、今週は高値警戒感が強い中で堅

調か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.4%高と3週続伸。不動産、鉄鋼、金融などの時価総額で上位の銘柄が買われ、指数は1カ月ぶりに過去最高値を更新した。週前半は利益確定売りに押されて続落したが、19日に金融株や時価総額上位の銘柄が買われて反発すると、21日まで3日続伸。指数は21日の場中に1289.03ポイントまで上昇し、約1カ月ぶりに最高値をつけた。終値でも連日で最高値を更新している。個別では不動産のビンホームズが6.9%、鉄鋼のホア・ファット・グループが6.8%、金融のベトナム投資開発銀行が5.7%、軍隊商業銀行が5.0%上昇し、食品加工のマサン・グループが3.5%高。一方、エネルギーのペトロベトナム・ガス、ゴム製品のベトナム・ラバーが3.6%下落した。今週は高値警戒感が強いものの、堅調な展開か。

▼指数チャート



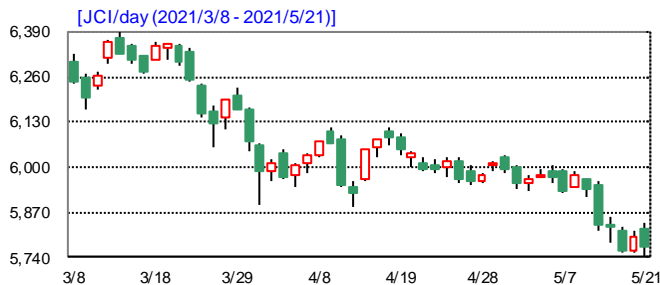


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.8%安、今週は 25 日に中央銀行が金融政策決定会合を開催

ジャカルタ総合指数は週間で 2.8%安と反落。週初から軟調な値動きが続いた。連休明けの 17 日は、新型コロナウイルスの変異株に対する警戒感が高まった影響で、前営業日比 1.8%安と続落。18 日は前日からほぼ横ばいだったが、19 日は前日に NY ダウが下落した流れで 1.3%安となり、終値で約半年ぶりの安値を更新した。一方、20 日は 4 月の輸出額が商品価格の上昇を受けて前年同月比 51.9%増と好調だった効果で買い戻されたが、21 日は再び反落して取引を終えている。今週は 25 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。26 日はワイサク（ブダの生誕記念日）のため休場となる。

▼指数チャート

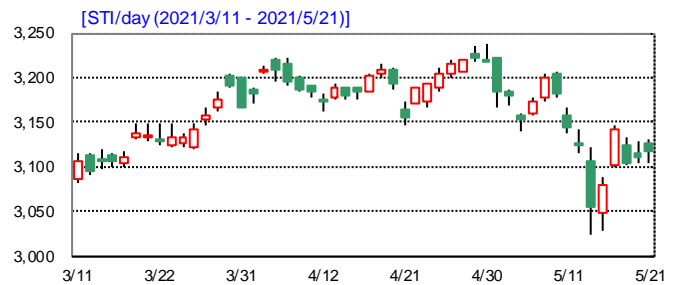


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 2.1%高、今週は 25 日に 1-3 月期の GDP 確定値発表

ストレーツタイムズ指数は週間で 2.1%高と 3 週ぶりに反発。前週に大きく下落した反動で、おおむね堅調に推移した。週初の 17 日は、新型コロナウイルスの感染者数増加に伴い前日から規制が再強化されたものの影響は小さく、指数は 5 営業日ぶりに反発。18 日はシンガポール航空など値ごろ感のある銘柄が買われ、前日比 2.0%高と続伸した。19 日は前日の NY ダウの下落に連動して 1.2%安と反落したが、週後半はじりじりと上値を広げている。今週は 24 日の 4 月の CPI に続き、25 日には 1-3 月期の GDP 確定値と 4 月の鉱工業生産が発表される予定。26 日はベサクデー（釈迦誕生祭）のため休場となる。

▼指数チャート

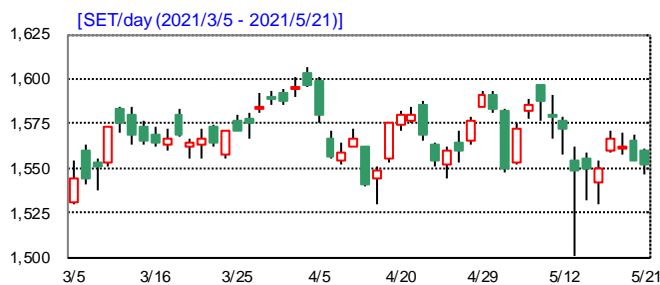


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.2%高、1-3 月期の GDP は前年同期比 2.6%減

SET 指数は週間で 0.2%高と反発。週半ば以降の下落が上げ幅を縮めた。週初の 17 日は、1-3 月期の GDP が前年同期比 2.6%減と市場予想から上振れしたものの、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて、当局が今年の経済成長率見通しを下方修正した影響で指数は小幅に反落。一方、18 日は金融株が指数上昇をけん引し、前日比 1.1%高と反発した。ただ、その後は買い材料に乏しく、じりじりと下値を広げ、結局 21 日まで 3 日続落して引けている。今週は 25 日に発表が遅れた 4 月の貿易統計（通関ベース）が発表される予定。内容次第で株式相場の追い風か。26 日はウィサカブーチャ（仏誕節）のため休場。

▼指数チャート

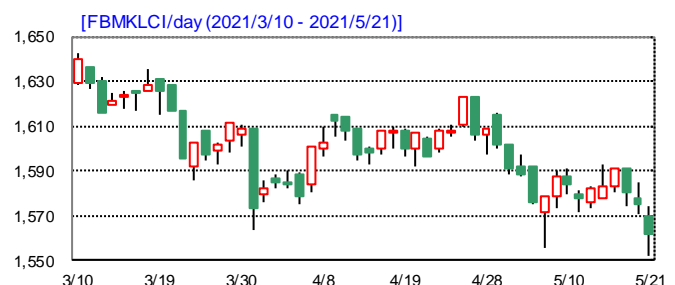


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.3%安、新型コロナウイルスの感染拡大を嫌気

クアラルンプール総合指数は週間で 1.3%安と 4 週続落。週半ば以降の下落が響いた。連休明けの 17 日は、新型コロナ対策としてスランゴール州での行動制限強化が懸念される中、指数は小幅続伸。18 日はペトロナス・ケミカルズ・グループなどの大型株が値上がりした効果で買い優勢の展開が続いたが、19 日は 1 日当たりの感染者数が過去最高となった影響で 4 営業日ぶりに反落した。週後半も感染拡大が売り材料視され、21 日は終値で約 3 カ月ぶりの安値を更新して取引を終えている。今週は 28 日に 4 月の貿易統計が発表される予定で、市場予想を上回れば好材料。26 日は釈迦誕生日の祝日のため休場となる。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。